

SSC
 埼玉県障害者社会参加 推進
 センタタより

令和5年9月30日 138号

編集
 埼玉県障害者社会参加推進センター
 〒330-8522 さいたま市浦和区大原3-10-1
 県障害者交流センター内
 TEL 048-825-0707
 FAX 048-825-3070
 メールアドレス ssk080321@bz03.plala.or.jp
 HPアドレス http://saitama-shokyo.org/info/
 発行 NPO法人埼玉障害者センター
 〒330-8522 さいたま市浦和区大原3-10-1
 頒価 一部100円(会費に含まれます)
 発行日 10日・20日・30日

障害者ITサポートセンター

特別講演会の開催

埼玉県障害者

ITサポートセンター推進員

阿部 忠正

埼玉県障害者ITサポートセ

ITサポートセンターでは依

ンターは、「障害があることで、パソコンやスマホ等による情報の入手やパソコン操作の習得等が困難な方」を対象に、ご希望の日時に、ご希望の場所でボランティアによる無料の個別・訪問サポートすることを埼玉県からの委託事業として行っております。

ITサポートセンターの主な業務は以下です。

- ・ 障害者からのICT利用相談受付・対応
- ・ パンボラの派遣（個別・訪問サポート）
- ・ パンボラの養成・スキルアップ

頼者様の要望に対応すべく、毎月登録ボランティアの皆様と「新技術研究会」と称しました勉強会を重ねてまいりました。

そのテーマは、技術的なテーマになる事が多くメンタル面の勉強が出来ないまま過ぎてまいりましたが、今年度は何とか実現したいとNPO法人STAND代表理事 伊藤数子様にご相談して講演会を開催することが出来ました。

伊藤様は、長年に亘りパラスポーツを幅広く支援されていらっしゃると思います。その中でも、パラスポーツのボランティアに向けて、コミュニケーションの取り方や、おもてなしの仕方につ

いて、数多くご講演されるなどご活躍されています。

この度の講演は、6月17日（土曜日）に障害者交流センター研修室にて開催し、受講したのはパソコンボランティアの方々がメインでしたが、障害者交流センターからも参加していただきました。



講演の演題は、

「すべての人が好きなことに

チャレンジする社会へ」

副題として

「障害に対する考え方、

障害のある人との接し方、

「ボランティアの心構え」

でした。

【概要】

パラスポーツに出会い、パラスポーツ支援活動をする中で来場者から「障害者をさらし者にしてどうするつもりだ」という言葉にショックを受けました。

社会が少しずつ変わっていったらいなという思いで「STAND」を設立し、事業として、スポーツとしてのパラスポーツのおもしろさを発信、スポーツ体験会、ボランティアアカデミーを行ってきました。

「平和でより良い世界の実現に貢献すること」という近代オリンピックの精神に対して、パラリンピックムーブメントは「よりよい社会を作るための社会変革を起そうとするあらゆる活動」のことを指し、「社会変革を起そうとする人、団体すべてが担う」とあります。そのゴールにあるのはパラリンピックムーブメントの推進を通して「インクルーシブな社会を創出」することです。



社会変革活動

一般の人が障害者の方に、「どうやって声をかけたらいいんだろう」とためらうシーンがあります。それは「普段通りに声をかけるだけ」です。そして、普段から障害者と接することに「慣れる」ことが大切です。

ボランティアについて

ボランティア精神の本質は、「自分で考え、自己責任で行動する人」のことです。ボランティア活動に参加する理由は、「社会貢献したい」「何かの役に立ちたい」など様々です。そして、「目的が違う」「熱意の強さが違う」「年齢・所属……いろいろ違う」、そのため「ついつい遠慮しちゃう」「言われたこ

とだけした方がいい」など、とても「もったいない」ことになってしまう場合があります。あなたにとってのボランティアは、「心を豊かにしてくれるもの」「仲間ができる」「新しい自分を発見」「少しでも役に立って満足」「ありがとうと言ってもらえて幸せ」……と感じることは様々ですが、「求めるだけ応えてくれるもの」ではないでしょうか。

▼出席者の感想▲

*特に「共生社会」という話に興味を持ちました。健常者が障害に対して慣れる。障害は社会にある。ということでしたが、受け止めて今後の活動に実践していきたいと思っています。(女性)

*これまで、依頼事項以外に現場だからこそ出てくる質問や新たな依頼について何処まで対応したのかかと思いつきながら対応していましたが、現場ではボランティアが主役、自主的に判断することが重要との事でした。これまでも、色々やり残し感があったり、不完全

燃焼を感じる事がありました。今回の講演で目からうろこがポロリと取れ「現場判断で出来るだけの事をすればそれで良い」という事を再確認させて頂きました。吹っ切れました。(男性)

*ボランティアがまさに中心となって積極的かつ創造的に動くという発想は、とても勇気づけられました。(男性)

*講演の中で、ホームを歩いていた盲目のご夫婦の前を歩いていたご主人がホームから転落して亡くなられたお話がありました。ホームにいた人は、声を掛けることもなく目視してしまった、という内容です。確かにホームでの様子を見ていて、声掛けをするのにも勇気がいると思います。「危ないですよ。」の一言で一人の命が救えたかもしれないと思うととても歯がゆさを覚えます。心がけの原点も教えていただきました。大きな力だけでなく、小さな力も大いに有効だと思えます。お互いを慮って生きていけたらいいなとつくづく感じた講演でした。(女性)



6月23日(金)～25日(日)に関東ろう連盟主催、当会が主管となり、第52回関東ろう者体育大会in埼玉を開催しました。

23日(金)は埼玉県障害者交流センターにて10競技(野球・卓球・バレーボール・サッカー・テニス・ボウリング・ゲートボール・ソフトボール・バドミントン・フットサル)の選手や役員、スタッフが集い開会式・引継ぎ式を行いました。

24日(土)～25日(日)の2日間、関東各地から588人の選手が集い、さいたま市・熊谷市・東松山市・狭山市・上尾市・富士見市にて各競技を行いました。埼玉県聴覚障害者協会の選手たちの活躍が見られ、たくさんの選手が入賞しました。以下に結果を掲載します。

3日間にわたる要員そして関係者の方々に協力いただいたおかげもあり、無事に終えることができました。

★競技結果(埼玉県のみ)

【第76回野球競技】※24年ぶりとなる

悲願の金メダル獲得

優 勝…埼玉A

最高殊勲選手賞…大塚隼斗

最優秀投手賞…綿引海斗

首位打者賞…大塚隼斗

【第55回卓球競技】※女子団体は

11年ぶりとなる悲願の金メダル獲得

男子団体 準優勝…埼玉A

女子団体 優 勝…埼玉B

準優勝…埼玉A

男子シングルス・シニアの部

優 勝…堀 幸一

女子シングルス・一般の部

優 勝…牧野陽菜

第三位…右島舞奈

女子シングルス・シニアの部

優 勝…橋本良枝

女子ダブルス

優 勝…牧野陽菜・右島舞奈

準優勝…加藤裕美・橋本良枝

【第52回バレーボール競技】

女子団体 第三位…埼玉

【第44回サッカー競技】

第三位…埼玉

【第43回テニス競技】

男子シングルス

優 勝…親松直人

女子シングルス

準優勝…鈴木梨子

【第42回ボウリング競技】

女子個人 準優勝…栗山美和子

【第41回ゲートボール競技】

準優勝 埼玉

敢闘賞 恒吉盛代

【第34回ソフトボール競技】

入賞なし

【第30回バドミントン競技】

女子シングルス

優 勝…中西朋美

男子ダブルス

第三位…松本庸行・村城裕明

女子ダブルス

準優勝…中西朋美・青山裕香子

【第9回フットサル競技】

女子団体優勝…埼玉C

最優秀選手賞…宮田夏実

得点王賞…中井香那



開会式・引継式



野球競技



卓球競技



バレーボール競技



サッカー競技



テニス競技



ボウリング競技



ゲートボール競技



ソフトボール競技



バドミントン競技



フットサル競技



手話通訳競技

検査や大腸カメラを受けることにより早期発見が可能となります。がんが発見され治療のあとも、定期検査も怠らずに受けることが大事です。

第2部では、皮膚・排泄ケア
特定認定看護師さんによる、
「オストメイトの日常生活
いま困っていることは何です
か」というテーマの講演です。

オストメイトは、ストーマ外来などで直接日常的に認定看護師と接触しています。認定看護師は、創傷や褥瘡、人工肛門、排泄障害などのケアを専門的に行う看護師で、WOC (Wound Ostomy and Continence Nursing) ナースとも呼ばれます。



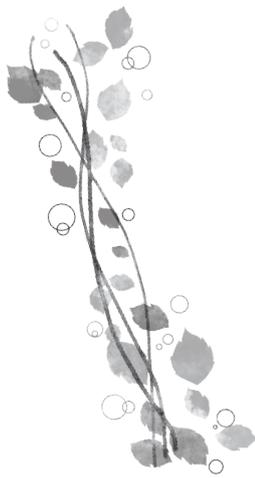
皮膚・排泄ケア認定看護師になるには、看護師経験年数が5年以上で皮膚・排泄ケアに関わる業務に通算3年以上従事したことが必要で日本看護協会が認定した教育機関で指定カリキュラムを受講し認定審査に合格した人達です。

病気やけがなどによって、肛門を切除する治療を行う場合や、一時的に便が肛門を通らないようにしなければいけないときには、腸や尿管の一部を体外に出して、便や尿の出口（排泄口）をつくる必要があります。人工肛門という器具があるわけでなく、手術によってつくられた新しい出口（排泄口）のことを「ストーマ」といいます。ストーマをもっている人をオストメイトといいます。

オストメイトの日常生活（食事・入浴・衣服・外出、旅行・運動・災害時の備え・ストーマ外来）についてどのように過ごせばいいのか、具体例を交えて紹介されました。

話を総括すると、

- ① ストーマは人それぞれに違っていますが、ケアの基本はすべて同じです。
- ② 自分自身のストーマを大切に切り扱って、丁寧なケアをする事が重要です。
- ③ 自分らしい暮らしを続けられるような規則正しい生活習慣を学び、日常生活を送ることが肝要です。
- ④ 自分自身のストーマに何か変化があれば担当医師や看護師に相談して対応することも必要です。
- ⑤ 困っている事や悩みを一人で抱えないで患者会や、医療講習会や相談会などを利用して皆で共有して解決しましょう。



誰かを支えるあなたも支える。

11月は **ケアラー月間** です。

介護者サロンについて

介護者サロンとは？

介護者サロンはケアラーの方同士が気軽に集まり、ケアのこと、日々の悩みや不安など何でも話し合える場です。同じ悩みを抱えたケアラー同士で集まり、悩みを打ち明けてみませんか？きっと気持ちが軽くなるはずです。埼玉県内の各地域で開催しておりますので、是非ご参加ください。

詳しくは県HPをご覧ください



ヤングケアラー向けLINE相談 「埼玉県ヤングケアラーチャンネル」について

ヤングケアラーとは？

家族など身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上のお世話や援助をしている18歳未満の方をいいます。

ヤングケアラーチャンネルでできること

元ヤングケアラーが、家族に関する相談や進学・就職相談、お役立ち情報の発信を行い、ヤングケアラーをサポートします。

ヤングケアラーのための
LINEチャンネル登録受付中！

お友達登録は
こちらから！



ケアラー・ヤングケアラーの 市町村相談窓口について

埼玉県内の市町村では、ケアラー・ヤングケアラーの方の相談を受け付けています。一人で悩まずにお住まいの市町村にご相談ください。

ケアラーの
相談窓口



ヤングケアラーの
相談窓口



第**44**回

みなさんお待たせしました！ 埼玉障害者まつり



とき **10月8日(日)**
9:30~15:00

ところ 埼玉県障害者交流センター

**参加費
無料!**

ベリーダンス
春奈あき&アラビーナ



出前うたごえ
「ともしび」

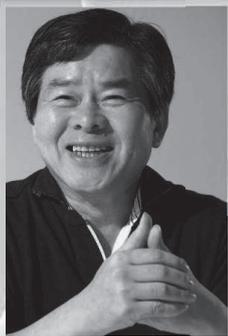
完全復活!

楽しい企画がいっぱい!

チョコミント
ドラムサークル

子ども太鼓
浦和見沼太鼓

風船芸(マジックバルーン)
バルーンおやじ



「憲法9条は 未来を照らす」

講師
国際ジャーナリスト
伊藤千尋氏



主催 埼玉障害者まつり実行委員会

◎特定非営利活動法人 埼玉県障害者協議会 ◎障害者の生活と権利を守る埼玉県民連絡協議会
実行委員会事務局 〒330-8522 さいたま市浦和区大原3-10-1
埼玉県障害者交流センター内 電話・FAX 048-833-7027
E-mail syousairenssc@hop.ocn.ne.jp

後援 埼玉県・埼玉県社会福祉協議会・さいたま市・さいたま市社会福祉協議会
埼玉新聞社・読売新聞さいたま支局・朝日新聞さいたま総局・
毎日新聞さいたま支局・東京新聞さいたま支局・テレ玉・FM NACK5

雨にも負けず開催します! 台風等で駐車場が浸水した場合は中止し、出直します。

障害者まつりや障害者運動を盛り上げる 協賛金・支援カンパのご協力を!

コロナ自粛でなかなか外に出られなかった障害児・者、
家族が久しぶりにたくさん集まります。
障害者運動を進めながら、障害者まつりの会場への
送迎や企画成功のための資金づくりにご協力くださ
い。個人でも事業所、会社、企業、団体、組合、サー
クルのみなさん、振替用紙等をご利用いただき、どう
かよろしくお願いいたします。

事務局 電話・FAX 048-833-7027
E-mail syousairenssc@hop.ocn.ne.jp

振込先 郵便振替 口座名 障害者まつり
00160-4-57438

令和5年度第1回埼玉県社会参加推進協議会並びに 社会参加推進事業実施団体調整会議 開催報告

埼玉県障害者社会参加推進センター 事務局

令和5年7月27日(火)、埼玉県障害者交流センター2階の第4研修室にて、令和5年度第1回埼玉県社会参加推進協議会並びに社会参加推進事業実施団体調整会議が開催されました。

この会議には、社会参加推進事業の各実施団体の他、埼玉県福祉部障害者福祉推進課社会参加推進・芸術文化担当の高橋洋吏主査にご出席を頂きました。

当事業は埼玉県内の障害者の社会参加を推進するため、埼玉県障害者協議会が埼玉県の委託を受けて、埼玉県障害者社会参加推進センター事業として実施しています。令和5年度事業では、10の実施団体を通じて、講習会や各種体験など、障害者が日常生活を送るために必要な指導、訓練等の開催を予定しています。

今回の会議では、各実施団体から今年度の実施計画の詳細について説明が行われました。

高橋主査は「昨年までコロナ禍の影響があつて事業の変更や中止



になつていた団体もあつたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の5類以降を受け、以前より制限が少なくなつたこと

もあり、計画通りに事業が進められることを期待している。また、計画では積極的に新たな企画を取り込んでいる事業があるのも県としてはありがたく感じている。」と会議全体を総括し、この会議は無事終了いたしました。

<賛助会員募集のコーナー>

私たちは、埼玉県障害者協議会の活動を応援しています

視覚障害者にも
楽しい老後を!

もう一度青春ひとみ園!

社会福祉法人日本失明者協会

養護盲老人ホームひとみ園

〒366-0811 埼玉県深谷市人見1665-3

電話 048-573-5222

メール hitomien5222@yahoo.co.jp

晃新印刷

〒336-0931 埼玉県さいたま市緑区原山2-23-25

電話 048-887-8006 FAX 048-887-3444

<賛助会員加入のお願い>

埼玉県障害者協議会の目的に賛同しご協力頂ける、個人及び団体を募集しております。賛助会員には年8回の会報の送付、各種研修会・講演会などのご案内を送付いたします。賛助会員の会費は、年一口2,000円です。入会をご希望の方は、下記の口座へお振り込み下さい。

<郵便振替> 【口座番号】 00130-9-673233

【口座名称】 特定非営利活動法人 とくいていひえいりかつどうほうじん 埼玉県障害者協議会 さいたまけんしょうがいしやきょうぎかい



編集後記



暑さ寒さも彼岸までと言われていますが、清々しい秋の気配が感じられる季節になりました。暑さのせいでしょうか食欲が減退していましたが梨・林檎や秋刀魚・鮭（特に筋子）等魅惑のものに勝てそうもないのは私だけでしょうか。
(黒図)